

市政を斬る!! 一般質問

一般質問の原稿は、各発言議員が作成しています。

6月定例会の一般質問は、18日、19日の両日行われ、9名の議員が市政各般にわたり、一般質問を行いました。



能登 恵子
議員

問① 消防団員の装具の装備について。地域の実情に精通した消防団は、東日本大震災後見直され、消防長官より充実の通知が来ている。市内の消防団の装具(特にヘルメットなど)は、古く現状の把握もされていない。安全義務違反に相当するがその対策を聞く。

答 計画的に更新・整備し、消防団の活動の向上にも努めたい。

問② 二期目を目指す市長に問う。

A 観光インフラ・防災インフラの為にW i

F i 鎖国状況の改善を求める。

答A 観光の為にアナログ整備も進んできた。ネット整備も研究していきたい。

B 小浜縦貫線や小浜 I C 周辺の将来像について、推進派と農山間部の市民間に温度差がある。このような大きな事業は選挙で市民に問うべきではないか。雇用を増やす方向で進めてもらいたい。

答B 縦貫線は2013年の事業採択を目指したい。小浜 I C 周辺は条例で無秩序開発防止となっている。



垣本 正直
議員

問① 自主防災組織等は地区内のつながりが大事である。地域防災の組織強化のためにも、公民館の活用を考えられないのか。

答 避難所の運営など、地区単位の組織づくりが必要であり、公民館単位での自主防災組織協議会のような体制づくりを検討する。

問② 入学生徒数の減少している口名田・中名田・加斗地区の小中学校統合について。

答 小中学校の統合には、住民の理解や、事務方の仕事量、予算などの課題があり今後、庁内でよく検討し前向きに考えていきたい。

問③ いきいきまちづくり事業の総括で未だ実現していない地域課題にどう取り組むのか。

答 本市がめざす協働のまちづくりを進める上で各地区の振興計画の実現のための支援は重要であり、引き続き支援していきたい。

問④ 公民館職員の待遇改善と、地域の活動拠点としての公民館の役割について。

答 職員の待遇改善には今後も適切に対応する。また、地域課題解決のための活動自体が地域づくりにつながる。今後も公民館を中心に協働のまちづくりを推進してまいりたい。



池田 英之
議員

問① 市内企業の景気動向について雇用情勢が厳しくなっているが、雇用拡大の方策は。

答 民間の遊休地を利用し企業誘致を図る。市内の製造業10社程度を訪問し現状や課題について意見交換させていただく。

問② 融資対策と雇用対策が行政に大きく期待されているが支援策は。

答 本年4月から「小浜市制度融資信用保証料補給金制度」を創設し借入時の負担を軽減している。また「小浜市ものづくり就職奨励金」を一部見直し2年間延長して実施。

問③ 子ども、高齢者の交通安全対策について。

答 女性交通指導員を2名配置し保育園・学校等で交通安全教室を実施している。「子ども見守隊」等の関係機関と連携して活動している。高齢者交通安全師範学校を開校するとともに高齢者の免許自主返納についても支援している。

問④ 基本的な施策を定め、市民の皆さまの意識高揚を図るためにも「交通安全計画」を策定すべきと考える。

答 策定に向けて前向きに検討する。



下中 雅之
議員

問① 地域防災計画の見直しの進捗状況を伺う。
答 検討準備委員会を立ち上げ、国の改定内容の確認や改定すべき内容の整理を行っている。今後庁内の検討委員会により、改定案を作成し、市の防災会議に諮る予定である

問② 協働のまちづくり推進に対し旗振り役を担う職員の意識改革の取り組みについて伺う。
答 地域の多様な担い手と課題解決型事業と一緒に取り組むことにより、市民の皆さんと対話し、様々な情報を共有、共感し合い、意識改革につなげていきたいと考えている。

問③ 震災がれき受け入れについての考えを伺う。
答 焼却灰の埋立方法が、国が示す基準と異なることや処理水を海に放流することから漁場に与える影響も懸念され、最終処分も含め受け入れは非常に難しい状況であると認識。しかし、焼却灰を国や県が責任を持って処分するのであれば、年間240トン程度の震災がれきの受け入れの可能性はあるが、その場合、各施設の地元住民の皆様をはじめ、市民の方々理解を得ることが重要であり、今後も引き続き国や県の動向を注視していく。



小澤 長純
議員

問① 国道162号(深谷・相生間)の改良工事が未だに着手されない理由は何か。
答 土砂崩れによる災害復旧など道路機能の現状維持を優先しているため、多額の費用と時間を要する道路拡幅など抜本的な機能強化が進まず現在に至っている。

問② 東相生・田茂谷間が最も危険であるが、何年度までを目途にどこまでの整備を考えているのか。
答 計画区間を二つに分け、本年度は第1期分の事業化に向け、河川協議等を経て予算要求を行う。

問③ 登下校中の児童ら歩行者が犠牲となる事故が多発しており、県道中井青井線改良工事では歩道整備が重要と考えるがどうか。

答 既設道路を迂回するバイパス道路を整備することにより、既設道路の車両の交通量が大きく減少し、歩行者が既設道路を利用する場合の危険性は減少すると考えている。

問④ 獣害対策の侵入防止柵は、各地区の要望待ちでなく、市の全体計画の中で1地区ごとに囲っていくべきではないか。
答 優先順位を付けた上で可能な限り地区全域に柵が設置できるよう適切に進めている。

問⑤ 個人の防止柵にも何らかの助成を検討してほしいがどうか。
答 3戸以上の農家が200m以上の柵を設置する場合には、1/2の補助をしている。



西本 清司
議員

問① 保育園統廃合及び民営化について。
答 統廃合には地元説明、協議を十分行い地域事情を考慮、住民の意思を踏まえて将来若者離れのないように考慮し検討したい。

問② 空き家の状況と対策について。
答 平成20年の国調査では市の空き家実態は14.6%、1,870戸であるが、その後5年間で400戸増加している。今後は少子高齢化の状況も踏まえて、利活用と現行法対応の限界も含めて検討していく。

問③ 観光戦略とその組織体系について。

答 観光協会は主に市県外等からの誘客を目的に、また観光局は誘客後の観光客をもてなす基盤を整備し、観光消費促進を目的としてまちの活性化に取り組んでいる。将来も観光立市でまちづくりを行い協会、観光局の組織統合も視野に入れ検討を行いたい。

問④ 原子力政策について。
答 県外等へ通ずる国道162号・県道岡田深谷線等の主要道路を災害避難道路としての役割も担うものであり、引き続き道路整備強化に向け、国や県に要望していく。

可決した意見書

【消費税増税に反対する意見書】

消費税増税は民主党のマニフェストのどこにも書かれておらず、現時点で「消費税増税関連法案」の採決を強行することは、国民との約束を破ることであり、政治に対する国民の信頼を大きく裏切る行為である。

更に、政府が今国会に提出した「消費税増税関連法案」は、消費税率を10%に引き上げるにもかかわらず、社会保障に関し、現行制度の維持を基本とし、抜本改革には程遠いものである。また、消費税増税の前に、歳出削減のため政府や国会が身を削る改革をせず、それらを後回しにして増税だけを先行させるのは、負担する国民の理解を到底得ることができない。加えて、

【北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書】

1. 国においては、いかなる北朝鮮情勢の変動があっても、拉致被害者等の安全を確保する手段を講じるとともに、追加制裁の発動も含めた毅然とした態度で、日本人拉致問題の新たな現場調査も



宮崎 治宇蔵
議員

問① 大飯原発3、4号の再稼働問題について。

答 避難については、福島第一原発の事故において明らかになっているように、地形や気象条件なども含めると、当然、県外避難も考慮しなければならない。県では、「避難に関する暫定措置」を示した。本市の避難先として越前市、鯖江市とするものである。

問② 水道施設の耐震化について。

答 23年度末までに全長226kmのうち約7km、割合にすると3.1%の配水管が耐震管となっている。22年度末での耐震管の整備割合は

全国平均が18.4%、福井県平均が10.0%である。災害時においても安定した給水を確保するため、耐震化率をより高めることが必要である。

問③ 登校時における児童生徒の安全確認について。

答 子どもたちの生命、身体の安全を守るという面から、大変貴重で現実的な提案をしていただいた。今後は各学校から挙げていただいたものと合わせ、都市整備課、生活安全課と連携協力のもと、カラー舗装などの整備に向け検討していく。



松崎 圭一郎
議員

未解決危険個所のその後の取組みについて

問① 土砂災害ハザードマップ等にプロットされた危険個所数を尋ねる。

答 土石流、急傾斜地崩壊危険個所等1,015を数え、順次対策工事を行っており、県事業に於いて砂防事業7箇所が進行中である。

問② 西津福谷の砂防指定の現状は、また、未指定のようであれば、この件に対する県や市のこれ以上の努力は限界だ。今や地権者に対する勇気と確固たる決断で臨むべきで、早急なる対応を求める。

答 当該、砂防指定については、十年以上も経過したが、遅滞として進んでいない。

拉致問題の行方について

問③ 拉致問題の経過十年を節目に、本市において、八百比丘尼サミットのようなものを開催できないか。また、活動を県内だけに止めることなく、埼玉県川口市へ声を掛けてみるべきと思うが、いかがか。

答 更なる啓発運動を行っていくことが大切である。今後、市民の会や関係者の皆様と協議を行っていきたい。



清水 正信
議員

問① 少子化の現状と雇用策、活性化策について、少子化の一因は経済環境の悪化による雇用不安と家計の収入減がある。総務省が発表した労働調査で非正規が占める割合は35.2%小浜市職員では、48%が非正規職員である。行財政改革、待遇改善が必要。

答 報酬月額増額などの改善を行ってきた。同職種の民間事業所等の雇用形態や待遇を勘定し、必要であれば見直しをしていきたい。

問② 雇用の確保のため企業誘致、1次産業を核とした6次産業化が必要であり、市民の生

活が成り立つことが必要不可欠である。引き続き企業誘致に積極的に取り組む。6次産業化を進め、農林水産業の所得の向上、雇用の確保が重要。地域ぐるみの6次産業化を推進していく。

問③ 65歳以上の介護保険料において基準額は年62,400円、所得段階第1～13段階となり、保険料の調整率の最高で2.5倍となり、保険料が年156,000円となり県下で突出して高額となった。バランスが必要だ。

答 負担能力に応じた観点から決定した。

【農業・農村の安全対策と農業の発展に向けた意見書】

1. 農業者戸別所得補償制度の充実について
農業者の生産意欲の向上につながるよう地域の実情に即した支援対策を期待すること。また、農業者が将来にわたり農業経営を維持・継続するために、農業者戸別所得補償制度の法制化を進めること。
2. 鳥獣・病害虫による被害対策について
野生鳥獣から、農山村地域で暮らす人々の生活の安全を確保するとともに農業生産への影響を及ぼさないよう、継続した取り組みを求める。
3. 農業・食料の安全対策について
安全・安心な農産物の流通にかかる体制の構築と強力な支援を進めること。
4. TPPなど国際貿易交渉と国内農業、農村の振興について
広く国民に対しTPP全体の及ぼすメリット、デメリットすべての情報を開示し、十分な説明をすること。

6月定例会の各議員の表決結果をお知らせします

平成24年第2回 定例会採決結果一覧

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)
○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥(規定により採決に加われない)
※池尾正彦議員は議長のため採決には加わっておりません
※1は中嶋昭義氏、※2は赤坂修代氏の諮問

件名	採決結果	藤田 靖人	西本 清司	小澤 長純	今井 伸治	能登 恵子	松崎 圭一郎	池田 英之	下中 雅之	三木 尚	垣本 正直	藤田 善平	上野 精一	風呂 繁昭	富永 芳夫	清水 正信	池尾 正彦	宮崎 浩守	山本 益弘	賛成	反対	
専決処分につき承認を求めることについて (平成23年度小浜市一般会計補正予算(第8号))	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	17	0	
専決処分につき承認を求めることについて (小浜市市税条例の一部改正について)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	17	0	
専決処分につき承認を求めることについて (小浜市国民健康保険税条例の一部改正について)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	17	0	
専決処分につき承認を求めることについて (小浜市都市計画法条例の一部改正について)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	17	0	
消費税増税に反対する意見書の提出を求める陳情書	多	○	○	○	○	○	欠	○	×	欠	欠	○	○	○	○	×		○	○	12	2	
消費税増税に反対する意見書	全	○	○	○	○	○	欠	○	欠	欠	○	○	○	○	○	欠		○	○	13	0	
平成24年度小浜市一般会計補正予算(第1号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	17	0	
小浜市住民基本台帳カードの利用に関する条例の制定について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	17	0	
小浜市印鑑条例の一部改正について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	17	0	
小浜市手数料条例の一部改正について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	17	0	
福井県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	17	0	
T P P 交渉への参加反対に関する要請書 ※趣旨採択	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○		○	○	16	0
拉致問題意見書を求める陳情書	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	17	0	
農業・農村の安全対策と農業の発展に向けた要請 ※趣旨採択	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○		○	○	16	0
北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	17	0	
農業・農村の安全対策と農業の発展に向けた意見書	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	17	0	
小浜市防災行政無線整備工事請負契約の締結について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	17	0	
公平委員会委員の選任について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	17	0	
固定資産評価審査委員会委員の選任について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	17	0	
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(※1)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	17	0	
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(※2)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	17	0	
議員の派遣について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	17	0	
平成23年度小浜市一般会計予算繰越明許費の報告について	左記の7件の報告を受けました																					
平成23年度小浜市下水道事業特別会計予算繰越明許費の報告について																						
平成23年度小浜市下水道事業会計予算繰越の報告について																						
小浜市総合卸売市場株式会社経営状況の報告について																						
小浜市土地開発公社経営状況の報告について																						
株式会社ケーブルテレビ若狭小浜経営状況の報告について																						
株式会社まちづくり小浜経営状況の報告について																						

平成24年7月25日発行編集・発行 小浜市議会広報委員会

◆ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

皆様の市議会に対するご意見・ご質問・ご要望等を議会事務局宛でのメールでお受けすることができます。メールアドレスは下記のとおりです。
gikai@city.obama.lg.jp

◆ホームページで会議録を掲載。

小浜市のホームページで、平成13年9月定例会からの会議録をご覧になれます。
URLは、http://www1.city.obama.fukui.jp/obm/gikai/frame_top.htm
メニューの「議事録・会議録」ボタンから。



日進市での視察

7月12日から13日にかけて広報委員会の先進地視察研修を行いました。
「滋賀県湖南市」、「愛知県日進市」共に、「市議会だより」は、原稿から写真に至るまで、ほとんど議員自身の手作りによるものです。議会だよりを作成する議員の熱心な姿勢など学ぶことの多い研修でした。
今後は各委員の研さんと英知を集め、読みやすい議会だよりの製作に努めていきたいと考えています。
(委員長 宮崎)

編集後記

ご意見メールは・・・gikai@city.obama.lg.jp (アドレスが変わりました)

おばま議会だより【8】